プリンセス
小公女セーラ

第15話

『ピーターの応援』

AR台本

企　画
制　作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第十五話　『ピーターの応援』

登場人物

セーラ…………島本須美
ベッキー…………鈴木三枝
ピーター…………坂本千夏
ミンチン…………中西妙子
モーリー…………向殿あさみ
ジェームス…………郷里大輔
ラビニア…………山田栄子
ジェシー…………飯塚はるみ
ガートルート…………佐々木るん

アーメンガード……八百板万紀
ロッティ……渡辺菜生子
婦人Ⓐ……
婦人Ⓑ……
主人……
男……
父……
母……
少女……
少年達……

カメラ	画面		音声
1	明るくなっている天窓 朝早い――すずめが舞ってに ぎやかである		
2	服のまま、一寸毛布をかぶり、 本をひろげて、寝ているセーラ		
3	薄目をあけるが意識定まらず 手で目をこするセーラ ぼんやりと少しおき上がり本を 見つめる はっとなる――「ガバッ」とお き上がるセーラ		
	A・C		
4	起き上がり、毛布・洋服などを ながめ回すセーラ（ねむそうに しながら）毛布を手でどかす		
5	燃えつきたローソクや本を見つ めるセーラ　ペロリと舌を出し てにやりと笑って		

	本をとりあげて立ち上がる		セーラ「いけない！ 本を読んでいるうちに眠ってしまったんだわ」
6	セーラ 粗末なテーブルに行くと本を置き		
7	セーラ 写真に向かって声をかける		セーラ(off)「お早う、お父様、お母様」
8	エミリー人形		セーラ(off)「それからエミリー」
9	軽くエミリーに会釈するセーラ目線をオカリナに移す手をのばしオカリナをとり上げる		セーラ「お早よう！」
10	手の掌にのせて眺めるセーラ		
11A	ためらっていたピーター 思いきって小さな紙包みをセーラに差し出す。		ピーター「は、はい……。あの、お嬢様……これ、お祝いにと思って、市場で買ってきたんです」
11B	紙包みを渡すピーター		セーラ「まあ……」

	11C	11D	11E	11F
セーラ　紙包みを開いてオカリナをとり出す ピーターの方を見て	照れるピーター ガートルード　小声でジェシーにたずねる	ガートルード　いたずらっぽく言う	嘲笑に困惑するピーターとベッキー	困惑するセーラ ミンチン　二人をうながすように
		三人　笑う		
セーラ　「ありがとう、ピーター」	ピーター「へ……へへへ」 ガートルード(off)「あれなんなの？」 ジェシー「オカリナよ……。〜 箱なんかに入ってるから何かと思ったら……」	ガートルード「きっと、どこかで拾ってきたんじゃないの」	(嘲笑)←〜〜〜〜	ミンチン「さあピーター、ベッキー、早くお退りなさい」 セーラ　「院長先生……」 ミンチン「なんでしょう、セーラさん」

	セーラ　哀願するように ミンチン　びっくりして	セーラ「ベッキーとピーターをここに居させてはいけないでしょうか？」 ミンチン「まア……セーラさん……!!」
11G	困り切った顔をするピーター うつむいてしまうベッキー	ピーター「お、お嬢様！」
11H	ピーター　おずおずとミンチンに言う	ピーター「お願いです院長先生、お嬢様をこの学校から追い出したりしないで下さい」
11I	ミンチン　キッとなってにらみつけ ジェームス　ちらっとミンチンを見て ジェームス　ピーターの腕をつかまえて、無理矢理連れ出そうとする	ミンチン「ピーター、お前はもうセーラの馭者ではないんです。ジェームス、追い出しなさい」 ジェームス「はい、院長先生。 〜 さ、お前はもうクビだよ、グズグズ言わずに出て行くんだ！」 ピーター「な、なにをするんだよ、お、お嬢様！」
11J	セーラ　一歩前に出て	セーラ「ピーター！」
11K	引きずられるピーターの足	ピーター「おいやめろ、はなせ！」

11L	ジェームスに引かれて行くピーター ジェームスにつかまれた手をはらいのけて柱をつかむピーターの手		ピーター「お嬢様！〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
11M	「ハッ」となってピーターを見つめるセーラ		(off) お嬢様」
12	じっとそのオカリナをみつめるセーラ　呟くように ふと窓をふり仰ぐ		セーラ「ピーターはどうしているのかしら……」 S・E（雀の声激しく）
13	又ひとしきり雀の声―― 窓外をかすめる雀の影 セーラ　下から現われて窓に手をかける　左手に紙包み		S・E（チュン　チュン）
14	窓をしずしずと開けるセーラ 雀たち「ぱっ」と舞い立つ―― にこにこと眺め回して 紙包みを窓枠で開き		セーラ「お早よう……雀さんたち……。驚かなくてもいいのに……。さ、パンくずを貰っておいてあげたわ」

	中のパンくずをまく　最後は紙包みを持ち上げ中味をぶちまける　続いてオカリナを吹く		S・E　（オカリナの音） 〜〜〜
15	スモッグ（朝モヤ）に包まれた朝早いロンドンの屋根　屋根又屋根　立ち上る煙 PAN → 列車が行くのが見える　陽に照らされて光る尖塔		〜〜〜
16	オカリナを吹いているセーラ		〜〜〜
17	屋根のテッペンで様子をうかがっている雀たち 一羽がパンくずの方へ舞い降りる		〜〜〜
18	次第に舞い戻り、パンくずを喰べに集まってくる		〜〜〜
19	そっとオカリナを口から離し微笑を浮かべるセーラ 近くの教会の鐘の音を聞いて		S・E　（カラーン　カラーン） セーラ　「ああ〜〜!!〜……今日は、日曜日だった

			のだわ」
20	スズメが群がっている窓をしめるセーラ モヤ（スモッグ）にかすむ屋根		
21	壁をノックする		S・E　（トン・トン・トン・トン） セーラ　「ベッキー！　ベッキー！」
22	ベッキーの部屋 ガバと跳ね起きるベッキー		セーラ(off)「ベッキー！　……」 ベッキー「は、はい」
23	ベッキー　目を手でこすりながら		ベッキー「お嬢様。お早ようございます」
24	セーラ　微笑んで		セーラ　「お早よう、ベッキー」
25	屋根裏からの階段を降りてくる二人（in）		
26	寝ていたシーザー目をあけて大きくノビてあくびする ドアの方に注目する		S・E　（コッコッ・二人の足音が聞こえる）

27	ドアを開けて、屋根裏の階段から出てくるセーラとベッキー 立止まる二人の先に先導するように歩き出す		シーザー「ニャーオ」
28	シーザー　二人がついて来てるかどうか一度ふり返ってみて確かめて、又歩き出す シーザーの後から、セーラとベッキーそーっと歩く		
29	三階から二階への階段へ		
30	次第に急ぎ足になる		
31	ゆっくり階段を降りるセーラ、ベッキー		
32	二階から一階へ向かうシーザー まわり込むベッキー、セーラ		
33	降りるセーラ、ベッキー		

34	降りてくるシーザー		
35	一階フロアから地階へ向かう		
36A	地下へ向かうシーザー		
36B	続くセーラ、ベッキー 続くセーラ、ベッキー		
37	地下への階段を降りるセーラ、ベッキーの足　なお早くなっている		
38	地下の台所のドアへほとんど小走りで		
39	もうもうと湯気の上がる大鍋をかきまわすジェームス モーリーの声に振り返る		モーリー(off)「おそいじゃないか！……」
40	二人を叱るモーリー		モーリー「いいかい、日曜日だからって、ゆっくり休めると思ったら、大間違いだからね。」
41	モーリー二人をたしなめるよう		

	42	43	44	45	46	47
に	セーラ　顔上げて 横で心配そうに見守るベッキー	モーリー叱りつける	玄関脇の地下からのドアを開け 重い水桶をよっこらしょと運び 出し、ドアを閉める	階段を昇るセーラ　水桶が重そ うである　FOLLOW↗	エッコラ、ヤッコラ水桶を運ぶ セーラ　頑張るセーラ	玄関口まで運び上げ、ホッと一 息つくセーラ
セーラ「……」	セーラ「はい」 モーリー「お前は早く玄関の掃除をするんだよ」 セーラ「は、はい、モーリーさん」 モーリー「ベッキー……」 ベッキー「は、はい……」	モーリー「なにをグズグズしてるんだよ。お前 は早く食事の手伝いをおし！」			セーラ「おいしょ、おいしょ」	セーラ「フーッ」

48	肩で息をして、息を整える — O・L —		セーラ「ハアハア…………」
49	玄関をブラシで水洗いするセーラ		(シャワ〜 シャワ シャワ) ←〜〜〜 ←〜〜〜
50	ふっとその手を停め、顔上げる		
51A	回想　同女学院玄関前 這いつくばって石段を洗ってるベッキー		
51B	凍える手に息をかけるベッキー 又、石段を洗いはじめる		ベッキー「ハァーッ」
51C	石段を洗うベッキー		セーラⓂ「あのときベッキーはだまって働いていたけど、本当はこんなにつらい仕事だったんだわ……」
52	セーラ　再びうつむいて……		←
53	一生懸命ブラシをかけるセーラ		S・E　(シャワ　シッワ)
54	水桶にブラシをつける手		S・E　(ジャブ　ジャブ)
55	敷石を洗いだす		S・E　(シャワ　シャワ)

56	二階の廊下に降り立ち、鈴を振るアメリア		S・E（カラーン　カラーン　カラーン）
57	アメリア　振鈴を鳴らしながら来る		
58	素早くベッドに起きるラビニア		
59	大あくびするジェシー		ジェシー「フワッ　フワッ　フワッ……」
60	眠そうにモゾモゾ起きるガートルード		ガートルード「わァ、もう朝ァ。まだ寝たいのにィ……」
61	勢い良くベッドから出るラビニア		ラビニア「つまらないことでよふかしするからよ」
62	まだ眠っているアーメンガード		
63	ベッドから立上がってアーメンガードの方へ向かうラビニア		ラビニア「アーメンガードのねぼすけ！」
64	眠っているアーメンガード　ラビニアの手 Fr・in し毛布を		ラビニア(off)「アーメンガード！　起きなさいっ

	つかむ		てば――!!」
65	ラビニア　毛布をつかんで、思い切りひっぱる もろにベッドから落ちるアーメンガード		アーメンガード「うわーっ」
66	大笑いするジェシー、ガートルード		ジェシー・ガートルード「アハハハ……」
67	手を下げると皮肉な笑いを浮かべるラビニアの顔		ラビニア「フフッ」←〜〜
68	うらめしそうに見上げるアーメンガード		
	O・L		
69	敷石洗いを続けているセーラ 玄関のドアが開き、外出姿のドルシラ、ダイアナ、クリステル、リンダが出てくる		S・E（シュワ　シュワ） S・E（ギィーッ）
70	顔上げるセーラ　動き止まる		

71	「はっ」と見るドルシラたち 動き止まっている		
72	ドルシラたちを見つめるセーラ		
73	気の毒そうに顔を見合わせた後、 歩きはじめる生徒たち		
74	セーラ　水桶に気づいて		セーラ　「はっ！」
75	セーラ　立ち上がり、水桶を持 って邪魔にならぬ様脇にどけよ うとする　降りてくる生徒たち		
76	その傍を通り抜けるドルシラた ち		
77	続いて出てくるラビニア、ジェ シー、ガートルード　はっと立 ち止まる ジェシーとガートルード　顔見 合わせる		

78	ニヤリとするラビニア 前へ歩き出す		ラビニア「フフッ」
79	水桶をさげたセーラに近づくラ ビニア		
80	すれちがいざま、ラビニアの足 セーラの足をひっかける バランスを崩すセーラ		
81	スローモーション　回転しなが ら倒れるセーラ FOLLOW　PAN 桶から水が飛び散る		セーラ　「うわっ！」
82	水桶、落ちて来て 転がって止まる		セーラ　「あーッ、うっ」
83	倒れているセーラを見下ろして いるラビニア―― 起き上がろうとするセーラ		
84	見つめるドルシラ、ダイアナ、		

	ジェニファ、リンダ		一同「ハアー――」
86	起き上がっていくセーラ		
87	ニンマリとしていたが、急にキッとした表情になる		
88	キッとラビニアをにらんでいる セーラ		
89	セーラをニラム、ラビニア		
90	ニラム、セーラ		
91	ラビニア　皮肉っぽくニヤニヤして		ラビニア「なによ……！　自分で転んだくせに、 私のせいにする気」
92	ニラム　セーラ		
93	不敵な笑みを浮かべて歩き出すラビニア 後にジェシー、ガートルードが続く		ラビニア「大体、通り道で邪魔してるからいけないのよ。ねえ」 ジェシー「そ、そうよ、そうよ」 ガートルード「ウフ……」

No.	画面		台詞
94	とび出して来るアーメンガード		アーメンガード「セーラ……」
95	桶を拾うセーラ アーメンガード駆け寄る セーラ　微かに首を振り		アーメンガード「大丈夫?!　セーラ……」 セーラ　「大丈夫よ、アーメンガード」 アーメンガード「で、でも、そんな……」
96	ラビニア　アーメンガードを呼びつける セーラ　うながして		ラビニア「アーメンガード、早く並ぶのよ！」 セーラ　「さ、私と話してると、何か言われるわ。行って」
97	セーラから離れて行くアーメンガード　後からペネラビが来る		ロッティ(off)「セーラ・ママ……」
98	振り向くセーラ　駆け寄るロッティ		
99	セーラ　ロッティをうながす ラビニア現われる 思わず後すざるロッティ		セーラ　「ロッティ……。早く行かないと……」 ラビニア「ロッティ！　セーラに話しかけちゃいけないって院長先生に言われてるの」
100	ラビニア　ロッティの腕をつか		ラビニア「忘れたの。さ、早く並びなさいよ！」

No.	画面		セリフ
	んで引立てる 泣きだすロッティ		ロッティ「わあん……痛いよォ…… うわあァーン」
101	並んでいる生徒たちの方へ引いていくラビニア		
102	口唇をかみしめ耐えているセーラ　扉開いて、ミンチンとアメリア、出て来る　階段を降りる		
103	思わず二人の前に出るセーラ 立ち止まる二人		セーラ「院長先生……」
104	比較的機嫌の良いミンチン		ミンチン「何です、セーラ……」
105	セーラ　おそるおそる		セーラ「あの……お仕事を終わったら、私も礼拝に行ってよろしいでしょうか？」
106	みるみる不機嫌になるミンチン		ミンチン「……そのようなことはモーリーに相談しなさい……!!」
107	しょんぼりするセーラ		

108	歩いて行くミンチン 残ったアメリア　セーラを哀れ見ているが、ミンチンの後を追う		
109	淋しそうに通りの方を見るセーラ		ミンチン(off)「ラビニア！　みんな揃いましたね」 ラビニア(off)「ハイ、院長先生！」
110	ミンチン　出発をうながして ラビニア　手を上げて合図する セーラも皆の方を見ている ラビニアに泣顔で続くロッティ 更にドルシラたち年少組……		ミンチン「よろしい。では、出発させなさい」 ラビニア「はい、院長先生……。出発しまーす」
111	アーメンガード　セーラの方を見て歩みが殆んど止まりかけ、ジェシーにつきとばされる		
112	じっと見送るセーラ		

113	114	115	117	118
最後にミンチンとアメリアが続く 通りかかった二人の婦人が行列を見送って囁き合う（立ち止まる）	凝っと聞いているセーラ	立ち去る婦人Ａ、Ｂ 地下の階段を上って来るモーリー 振り返るセーラ	セーラを叱りつけるモーリー	セーラ　思い出したように謝まる
婦人Ａ「まあ、ミンチン女学院の代表生徒さん、また変わったのね」 婦人Ｂ「ほんと。でも、あの子、前に代表だった意地悪そうな子よ」	婦人Ａの声「だけど、どうしたのかしら。あのプリンセスみたいな生徒さん」 婦人Ｂの声「きっと国王のお父様に呼ばれてお帰りになったのよ」	婦人Ｂ「きれいで気品のあるお方だったのにねえ」 モーリー「お前、なにボウッとしてるんだよ」	モーリー「掃除が終わったら報せに戻らなきゃ駄目じゃないか」	セーラ「あ……ごめんなさい」

	モーリー、イラついた感じで 引き返すモーリー セーラ　水桶をとって 後に従うセーラ	モーリー「お前には、まだまだ沢山仕事があるんだからね。来るんだよ」 セーラ　「はい、モーリーさん」
119	ジェームスとモーリー ジェームス　確かめるように	ジェームス「いいな。丁度、そろそろコベントガーデンの市場が閉まる頃だ」
120	ジェームス　念を押すように ベッキー　Fr・in　セーラをかばうように	ジェームス「そこを狙って、いい野菜を安く仕入れてくるんだぞ」 ベッキー「あの、買い出しなら私が……」
121	のり出してくるモーリー たじろぐベッキー	モーリー「よけいなことは言うんじゃないよ。この子はなんにでも使うように、院長先生に言われてるんだからね」
122	モーリー　確認するように セーラ　返事する モーリーの手が出て紙片を渡す セーラ　受け取ってチラと眼を	モーリー(off)「買い出し位出来るだろ」 セーラ　「はい、やってみます」 モーリー(off)「要る野菜を書いといたからね。それ以上の値で買うんじゃないよ」

	通すセーラ　モーリーの方を見て	セーラ「は、はい……」
123	ジェームス　セーラに確認して	ジェームス「全部で幾らになる?」
124	セーラ　紙片を見て素早く暗算する 信じられない表情のベッキー	セーラ「二シリングと八ペンスです」
125	驚いてモーリーと顔見合わせるジェームス 両手の指を折って確かめる 上を仰いだり、指を見たり…… そして頷く モーリー　皮肉たっぷりと	ジェームス「合ってるようだぜ」 モーリー「フン。今までお嬢様で 〜 勉強して来ただけの事はあるだろうよ」
126	モーリー　セーラを見て うなずくジェームス	ジェームス「全くだ。そこへ行くとベッキーの奴と来たら、 買い出しのたびに釣をまちがえて来やがって……」
127	ジェームス、モーリー　ベッキーを見下して	
128	ベッキー　謝まる	ベッキー「す、すみませんです」

	手を出すセーラ		モーリー(off)「セーラ、手を出しなさい」 セーラ「はい……」
129	モーリー　エプロンのポケットから銀貨三枚をとり出し		
130	セーラの掌に一枚づつのせて渡す		モーリー(off)「一、二、三、三シリング確かに渡したよ」
131	モーリー　おどすように		モーリー「お釣を落としたりしたら承知しないからね」
132	セーラ　受け取る		セーラ「は、はい。モーリーさん」
133	出てくる二人　ベッキー篭をもっている		ベッキー「お嬢様、ほんとにお一人で……私、心配で心配で……」
134	篭をセーラに渡すベッキー 玄関の方に向かうセーラ		セーラ「ベッキー、心配しないで……私、何んでも出来るようになりたいのよ!!…じゃ、行って来まーす」
135	表に来るセーラ 階段を駆け昇って来るベッキー		

136	通りの左右を見て、道を渡って行くセーラ 追って来たベッキー　立ち止まる　遠ざかるセーラ		
137	ベッキー　同情するように		ベッキー「お気の毒なお嬢様……」
138	公園の脇道を遠ざかるセーラ		

＜前半・おわり＞

150	街の情景　ハンサム馬車が行く		
151	街に向かって歩くセーラ　SL		
152	歩くセーラ　キョロキョロとしている		
153	ボロ靴をはいたセーラの足が行く　FOLLOW↙		

154	貼り紙をしている男の傍を通り過ぎていくセーラ		
155	こわれた板塀の間から吠えかかる犬		S・E（ワンワンワン……ウー!!）
156	「はっ」となって、たじろぐセーラ		セーラ「はっ！」
157	犬、セーラの靴にかみつこうとするが、体が板塀から出られない		
158	後退するセーラ ギョッとなり振り返るセーラ		男「大丈夫だ！ 走れ!!」
159	吠える犬の前を走り去るセーラ 吠える犬 棒を振りおろす		男「やめろ!!」 犬「キャン」
160	犬 あわてて引っこむが、板にはさまれギャワンとなる 奥を走るセーラ		犬「ギャワン」

161	走るセーラ　ＦＯＬＬＯＷ↖		セーラ　「ハア　ハア　ハア………」
162	走って来て街灯によりかかる 肩で息をしている		セーラ　「ハア　ハア　ハア」
163	肩で息をしていたが、店の方を 見てはっとなる		←〜〜
164	ゆっくりと歩いて店の方へ行く セーラ		
165	セーラ　ドアに近づいて止まる カーテンが閉まっている じっと自分の姿を見つめる 右のウィンドを見る		
166	美しい服		
167	左側のウィンドの美しい服		
168	左側のウィンドから正面へ視線 をもどす 一瞬、以前の美しく着飾った姿		

	（O・L）がうつって見えるすぐもとのみすぼらしい姿に戻り、吐息して歩き出す		セーラ　「ハーッ」
169	轟音と共に通過するS・Lと貨車 ↓PAN・DOWN　その高架の下をセーラが来る		
170	高架の下をくぐって坂道を上るセーラ		
171	坂道を上って来て、ふと足を止めるセーラ		
172	小さい教会　鐘の音 礼拝に入って行く人々		S・E　（カラ～ン　カラーン）
173	見つめるセーラ		←〜〜〜
174	両親と一緒のセーラと同年の少女　楽しそうに話し合いながら教会へ　FOLLOW		少　女　「ねえ、パパ、礼拝が終わったらお食事に行きましょう？」

175	見つめるセーラ		少　女(off)「ねえ、いいでしょう?」
176	楽し気に話している少女 ↖FOLLOW		少　女　「買い物にも行きましょうね」
177	その父　↖FOLLOW		父　「わかった、わかった」
178	その母　↖FOLLOW		母　「フフッ、この子ったら」
179	教会へ入る親子づれ		
180	じっと見つめるセーラ　淋し気な顔		
181	→C－PAN		
182	ウォータールー橋にさしかかるセーラ　進むセーラ		
183	歩き出すセーラ　追い越して行く各種の馬車と行き交う人々 ←FOLLOW		

184	ウォータールー橋を行くセーラ		
185	橋のたもとの階段を降りて来る セーラ　ふっと立ち停まる		
186	見上げるセーラ		
187	眼前にそびえ立つホテル・サボイ セーラ、つぶやく		セーラ　「このホテル」
188	回想するセーラ		セーラ　「インドから来た時、お父様と泊っていたホテルだわ」
	O・L		
189	華麗なオーケストラがかぶり、 踊る人々		
	O・L		
190	T・B 吐息して、階段を降りはじめる out する		セーラ　「あの時の私とはもう違うの…… フーッ」
191	コベント・ガーデン市場へ来る セーラ　空の箱や篭を積んだ馬 車が出て行く　買出し人たちの		

	退いた閑散とした市場		
192	あたりを見廻すセーラ		
193	空篭を荷車に積む女　箱を片付ける男　ころがっている篭等		
194	空箱を積み上げる男　野菜くずの山		
195	天幕を片付ける男　荷車を押していく男たち		
196	広場　行き交う荷車など閑散としている		
197	セーラは銀貨をとり出し		
198	手を拡げ改める　セーラの手		
199	銀貨を見ているセーラ背中をいきなりつきとばされる		セーラ　「あっ！」

200	石畳にほうり出される 手から飛び出す銀貨		セーラ「うわ——ッ」 （ドサ）
201	石畳の上で散る銀貨 少年たち入って来て、　一枚二枚 と拾って走って行く 一枚はころがって out して行く		（チャリーン）
202	顔上げるセーラ		セーラ「ああっ」
203	駆け去る少年の足		少年たち「それっ、逃げろ！（etc アドリブ）」
204	起き上がって追うセーラ		セーラ「あ、待って……！」
205	素早く曲り角に消える少年たち の後姿		
206	曲り角まで追って来たセーラ、 立ち止まる		
207	姿は見えない　ＢＧ・ＯＮＬＹ		
208	急いで引き返すセーラ		

209	あたりを探すセーラ はっと気付きかがみこむ		セーラ「はっ!」
210	銀貨にのびる手　拾う		
211	体を起こし、探しつづけるセーラ 探しつづけるセーラ		セーラ「ど、どうしよう……、 あのお金がなかったら」
212	セーラに決めつけるモーリー (エコー)		モーリー「……お釣を落としたりしたら、承知 しないよ」
213	探すセーラ		セーラ「まだ、買物もしてないのに……」
214	探しつづけるセーラ		
215	←FOLLOW　地面を探すセーラ		
216	箱やごみの散らばった石畳 PAN→		(轍の音)
217	石畳の上を走る車		

218	顔上げるセーラ		セーラ「はっ！」〜 ピーターの声「どいた、どいた……」
219	野菜くずを積んだ車を避けるセーラ		（轍の音）〜
220	視線を車から後の少年の顔へ…… はっ！となる		セーラ「あっ」←〜〜〜〜
221	※ピーター上着なし 必死で止めようとする　車は急に止まれない ピーター　驚きの余り声にならない		セーラ(off)「ピーター！」 ピーター「うっ！」
222	驚き立ちつくすセーラ		
223	やっと止まる荷車 ぼう然とセーラを見つめるピーター		
224	ピーター　セーラである事に気付く		ピーター「お嬢様！」

225	変わり果てたみすぼらしいセーラの姿　C・PAN		
226	つとめて明るく表情変えて		ピーター「…………一体、なんだってこんな場所へ………」
227	首を振り必死の顔付で一歩前に出てうつむくセーラ		セーラ「ピーター……訳はあとで話すわ……それより私……買物に来てお金を……」
228	じっと見つめるピーター　心配そうに		ピーター「……誰れかに盗られたん……ですか…」
229	はっとなって顔を上げて 怪訝な面持ちで見つめる—— うなずくセーラ		セーラ「い…いえ……！ ←〜〜（こぼし）　落としてしまったの……!!」 ピーター「……落とした？」
230	手をはなし、セーラの方へ歩むピーター		
231	セーラの方へ歩くピーター ちらばっている空き箱		ピーター「お嬢さん、このあたりはお金なんか落としたら出て来っこないところなん

	セーラもあたりを見廻して	ですよ」 セーラ「え…ええ……私がぼんやりしてたから……いけなかったのね……!!」 ←（こぼし）
232	つとめて明るく振る舞うセーラ カゴから紙片を出すセーラ ピーター　紙片を受けとる	ピーター「……それで……買物って……」 セーラ「野菜をこれだけ。でも……のこったのは一シリングしか…」
233	困った表情で紙片を見ていたが顔を上げて くるりと振り返るピーター	ピーター「ようし……お嬢さん、ちょいと無理かも知れないけど……一緒に来て下さい!!」
234	心配げに声をかけるセーラ セーラの方を見て胸をぽんとたたき 唖然とした顔でうなずくセーラ	セーラ「ピ……ピーター?!」 ピーター「ま…任しといて下さい!!」
235	紙片を見ていたが顔を上げ、紙片をヒラヒラさせながら	主人「おいおいピーター……これだけの野菜を」
236	主人　あきれたという調子で	主人「たった一シリングで揃えろってのかい?」

237	ピーター　頼み込む		ピーター「頼むよ、おじさん。今度、お店の掃除タダで引き受けるからさァ」
237	主人　ちょっと考えてから		主　人「ううむ、参ったな。お前にそう言われちゃ……。よし、もう店じまいだ」
238	パッと喜色をおもてに現わす二人　礼を言う二人		主　人(off)「思いきって負けとこう」 ピーター「わァ、有難う、おじさん」 セーラ「有難うございます、ご主人」
239	主人　ニッコリして		主　人「なあに、ピーターの知り合いと来りゃ、この位のサービスしてあげなきゃな」
240	銀貨をポンと抛り、空中でつかみとるピーター		ピーター「あ、それからお釣が要るんだ。この一シリング、受け取っとくよ」
241	主人　ピーターに近寄って		主　人「ええっ……そ、それじゃ、まるっきりタダじゃねえか」
242	ピーター　身を乗り出して ニヤリとして、人差指でピーターのおでこを突く主人		ピーター「エヘ、恩に着るからさ、ご主人」 主　人「こいつ。お前にゃ負けたぞ」

243	厚かましすぎないかとちょっと不安そうなセーラ ピーター　ニヤリとセーラに片眼をつぶってみせる ほっとなるセーラ		ピーター「ヘヘッ！」 セーラ「クスッ」
	O・L		
244	山盛りの野菜の篭をかついだピーターとセーラ　市場の外へ出て来る		セーラ「有難うピーター……私、あなたに逢わなかったら」
245	→FOLLOW　セーラに訳を聞くピーター		ピーター「いえ、この位、今までお世話になった事を想えば、当たり前ですよ……。それよりお嬢さん、どうしてこんな事に……」
246			セーラ「ええ……お話するわ、ピーター」
247	ウォータールー橋とセントポール寺院		（セントポール寺院の鐘の音） 〜〜〜〜〜〜〜
248	ウォータールー橋上の二人		〜〜〜〜〜〜〜
249	欄干に寄りかかってじっとテー		〜　ピーター「……そうだったんですか……。オレ、

	ムズ川を見る二人　後を通る馬車		～ お嬢さんの事が心配で、何度もあの学校の前まで行ったんだけど……」
250	水面を見つめる二人		ピーター「礼拝の生徒さんの中にも、お嬢さんの姿は見えなくなっちまったし、きっと学校を辞めさせられて、どこか遠くへ行ってしまったのかと…」
251	セーラ　ピーターの方へ顔を向け ピーターもセーラを見る		セーラ「ごめんなさいピーター……私のために、あなたも随分生活が変わってしまったんでしょう？」
252	ピーター　ニッコリして返事する		ピーター「なあに、昔に戻っただけですよ。あの市場で掃除をしたり、店番を頼まれたり」
253	セーラ　まじまじと見つめて言う		ピーター「使い走りをしたり……」 セーラ「ピーター、……あなたって、とても強いのね」
254	照れるピーター		ピーター「へへへ、オレみたいなもんは、それそれでなきゃ、父さんや母さんを養って行けないんですよ……学校も三年でやめちまったし……」

No.			
	セーラ　再び川の方を見て 悲しそうなセーラ		セーラ　「私と同じね」 ピーター「えっ……お嬢さんと?」
256	セーラ　つぶやくように		セーラ　「ピーター………」
257	セーラをのぞきこむピーター		ピーター「は?!　……」
258	セーラ　川を見たまま		セーラ　「もう、私をお嬢さんって呼ぶのやめて……」
259	篭をはさんで二人		セーラ　「私、もうお嬢さんでも、生徒でもないの。働かなきゃ食べさせて貰えない」
260	橋の下を通る船 ピーターを見て		セーラ　「メイド代りなのよ……」 ピーター「お嬢さん……」 セーラ　「セーラって呼んで……」
261	long　船が通り過ぎる		セーラ　「その方が、今までよりずっとお友だちらしくなれるわ」 ピーター「そ、そんな、まずいですよ、お嬢さんを……」
262	セーラ　ニッコリして		セーラ　「セーラよ。さ、セーラと呼んで」

263	照れるピーター		ピーター「うわァ、困ったなァ！………」
264	セーラ　ピーターをうながして		セーラ「さ、早くピーター……」
265	後ろ向くピーター 照れながらも言う		ピーター「じゃ……セ…セーラ…… わァ、言っちまったァ」
266	照れているピーター セーラ　ピーターをのぞきこむように		セーラ「ね、ピーター……これでもう私たち、 お友だちよ……いえ私にはあなたが大 先輩だわ」
267	long　説明するセーラ		セーラ「だって私、今まで世の中の事をまる で知らなかった事が判ったんですもの」
268	ピーター　少し得意そうになって セーラ　ピーターに頼む		ピーター「そ、そりゃ、世の中の事は、オレの 方が少しは知ってるかも知れませんけ ど」 セーラ「教えて、ピーター……」
269	セーラ　真剣な表情で		セーラ「私、もっと強く生きたいの。いえ、 強く生きて行かなければならないのよ」

No.	画面		台詞
270	チラッとセーラを見て		ピーター「お嬢さん……」
271	セーラ　からかうように微笑みを浮かべて……		セーラ　「え？　今、何て言ったの。ピーター」
272	ピーター　突然思い出したように 微笑み合う二人に		ピーター「え。……お嬢さ……あっ、いけねッ！ セーラだったんだ」 二　人　「フフフ」 （船の汽笛）
	O・L		
273	街並み		
274	街を行くダブルデッカー		
275	デッカーの内部　セーラたちが行くの見える　FOLLOW→		
276	小さな教会が見える セーラ　立ち停まって		セーラ　「ピーター、有難う」
277	篭を受け取るセーラ		セーラ　「もうここでいいわ」 ピーター「でも……」 セーラ　「大丈夫……。

	篭を地面へ下ろす セーラ　ピーターを見つめて	ねえ、ピーター」 ピーター「は?!」 セーラ「私、考えたんだけど、今度町で逢えた時、少しづつ二人で勉強しない」
278	ピーター　照れて	ピーター「ひえっ。オ、オレなんか勉強したってしょうがねえよ、頭も良くないしさァ……」
279	セーラ　ニッコリして話かける	セーラ「大丈夫よ。一人だけだと大変でしょうけど、二人一緒なら、きっと楽しく勉強出来るわよ」
280	ピーター　少し身を乗り出して	ピーター「そうかあ！判んないとこはお嬢さんに教えて貰えるんだァ……」
281	セーラ　いたずらっぽい目をして	セーラ「え?!　誰にですって?」
282	ピーター　キョトンとして話をつづけるが、「はっ」―として思い出して、こぶしで自分の顔をたたく	ピーター「だって、オレ、頭悪いからお嬢さんに……あっ、いけねッ！オレって本当に頭悪いや……じゃセーラ、よろしくお願いしまーす」

283	別れのあいさつをかわす二人 翻って駆け去るピーター		セーラ「それじゃピーター」 ピーター「セーラ、オレもなにかあったら、いつでも応援しますから」 セーラ「有難う、ピーター」
284	よっこらしょと籠を持ち上げ、微笑で見送るセーラ くるりと反対を向くと教会を見上げる		セーラ「よいしょ」
285	小さな教会		
286	教会の中　↓PAN　階段を昇ってくるセーラ		
287	教会の中に入ってくるセーラ		
288	左右を見ながら入ってくるセーラ		
289			
290	教会の内部		

291	篭を置いて席につくセーラ		
292	十字架		
293	祈りはじめるセーラ		セーラ「……神さま、ピーターと逢わせて下さった事を心から感謝致します……」
294	祭壇へ出て来ようとして立ち止まる神父		
296	祈りつづけるセーラを見つめる神父		
297	微笑む神父		
298	祈るセーラ		
299	重い篭をさげて坂道を下り、ガードをくぐり抜けるセーラ		
300	商店街を重い荷物を持って頑張るセーラ　篭を敷石に置く　額の汗をぬぐうセーラ、一休み		

303			セーラ「ハア、ハア………」
304	息のあがるセーラ		セーラ「ハア、ハア……ハア、ハア……」
305	ラビニアを先頭に帰ってくる女生徒たち　ラビニア、セーラに気付く		
306	セーラを見ているラビニア		
307	気まずいセーラ		
308	得意気なラビニア →FOLLOW		ラビニア「フフッ！」
309	泣き顔のロッティ →FOLLOW 心配顔のアーメンガード　冷笑のジェシー、ガートルード →FOLLOW		ジェシー・ガートルード「フフッ」
311	ジロリと見て、又正面を見るミンチン　気掛かりそうなアメリ		

	ア　→FOLLOW		
312	入口に向かう一行		
313	見送っていたセーラ 篭を持ち上げて歩き出す		
314	地下へ向かうセーラ		
315	篭の野菜を吟味するジェームス とモーリー		ジェームス「ふむ、初めてにしちゃ、仲々いい 品物を選んで来たな」
316	モーリー　セーラを見て 銀貨を渡す ニッコリして受け取るモーリー		モーリー「お釣りは忘れてないだろうね」 セーラ　「はい……」
317	モーリー　ジェームスに見せる ニヤリとするジェームス、篭の 中から残りの野菜を摑み出しな がら モーリー　ジェームスの耳に口 を寄せて		モーリー「ほうれ、ごらんよ」 ジェームス「こりゃベッキーより、よっぽどま しだぜ」 モーリー「ほんとだよ。うまく値切って来たら しいし、 三ペンスは貯金出来るよ」

318	銀貨をエプロンのポケットに入れるモーリー　銀貨を入れたポケットをポンとたたく		二人（含み笑い）「フッフフフ……」
319	セーラの肩に手が……		
	A・C		
320	振り返るとベッキーがよかったね、と微笑む セーラも微笑を浮かべる		ベッキー「フフッ」 セーラ　「フフッ」
321	屋根裏部屋越しに見えるロンドンの夜景		
322	ベッキーに話すセーラ		セーラのN「もしもピーターに逢えなかったら、 私は一体どうなっていたのでしょうか。モーリーさんは許してくれたでしょうか…。 ピーターほんとうに有難う、決して今日のこと、私は忘れないわ。 ～ 違いなかったからです……」
323	ええッ！　ホントーッ！　と言う風のベッキー セーラの手にオカリナ		
324	話しているセーラ F・O		

＜END＞